

令和4年度図書館サービス評価(案)へのご意見・ご質問まとめ

ご意見・ご質問	回答
<p>テーマに応じて専門家や専門機関等と連携し、市民とのマッチングを行うなど、市民交流の場をコーディネートします。とあるが、具体的に何をしたのか？</p>	<p>堺市の歴史に関する講座を毎年複数館で開催しています。また、堺メモリー倶楽部や堺図書館ビブリオバトル倶楽部等の市民ボランティアの方々と協働して所蔵資料の整理や事業を実施し、講師を招いてボランティアの方を対象としたステップアップ講座も実施しています。</p>
<p>図書館主催事業の参加者の人数は、どのくらいだったのでしょうか。</p>	<p>子ども対象の事業を除いた図書館主催事業参加人数は1,536人。定例行事を除いた子どもを対象とした事業の参加人数は1,739人でした。</p>
<p>他市との比較ができないが、資料費が堺市は府内でも下から5番目の少なさとのこと。魅力的な図書館であるために資料費を増やし、人気の本を複本にするだけでなく、特に幼児向けの基本的な本は一定の期間で新刊書への買い替えをして、子どもたちが気持ちよく本に接することができるようにしてほしい。</p>	<p>資料費の他市との比較につきまして、令和3年度決算の政令指定都市比較では堺市は20市中15位、人口千人当たりでは20位中7位となっています。今後も多様化する市民ニーズに応えるため、図書資料費に係る予算の充実及び図書館資料の整備に努めます。</p>
<p>電子書籍のPRは定期的実施しているのか。</p>	<p>電子書籍を購入した際には図書館ホームページやTwitterで広報をしています。また、不定期ではありますが、電子図書館内で特集を組み、Twitterで広報をしています。</p>
<p>コンビニでの返却について、コンビニの好意で成り立っている事業なのか、図書館 市側の委託費があるなら費用対効果の検証も必要ではないか。資料費拡充や各館でのサービスなど全体の中で考えてほしい。</p>	<p>図書館コンビニエンスストア連携サービス事業につきまして、3月の協議会でご説明いたしましたように、コンビニエンスストア側への返却取次業務委託料と、店舗に返却された本を図書館まで返送するための配送業務委託料等で194万円を予算として計上しております。試行実施は11月までであり、その後、コンビニエンスストアにおける返却数及び利用者の実態を把握し、返却ポイント(箇所)の増加が利用者の利便性向上に繋がるのかなどの市民ニーズや、費用対効果を検証します。</p>

図書館協議会のあり方について

専門的知見や経験、さまざまな活動分野や地域、関心や願いを持って参加している委員の一人ひとりの意見が十分に反映される協議会であってほしい。

図書館サービス評価への意見反映に多くの時間が費やされ、意見反映が十分にされたように思えない。図書館サービス評価は難しい。むしろ、各分野からの図書館への要望やニーズ、市民意見の反映のあり方などについて、もっと時間をとってほしい。

次のような話し合いもニーズに応えるものになるのではないか。

○子どもたちの読書環境の充実というテーマで語り合うなら、図書館子ども室のあり方、各区の図書館の活動、学校図書館への公共図書館の支援、家庭での読書環境、地域での読書環境、文庫の状況、ボランティアの活動など、具体的な課題が浮き彫りになると思う。

○図書館資料の現状や課題をテーマにするなら、多世代・多様なニーズをもつ市民に求められる資料となっているか、地域づくりまちづくりに資する基本的・専門的資料が収集されているか、歴史と文化のまち唄」を発信するにふさわしい資料の収集・発信ができていないか など率直な意見交換をしたい。

○堺市全体のテーマ、区ごとの地域独自のテーマなどを大切に資料収集や住民活動への支援、成果の反映など、図書館が住民自治とまちづくりに資する公共施設としての役割を発揮するために何が大切か、市民も参加する公開の話し合いがあってもいいのではないか。

○その他 中央図書館のあるべき姿と建てかえについて 地域館の現状と可能性など。

図書館協議会は館長の諮問にお答えいただくとともに、図書館サービスについてのご意見を頂戴する場でもあります。

今までは図書館サービス評価にからめて様々なご意見をいただいておりますが、前回協議会でいただいたご意見を参考に、今回の協議会ではサービス評価について議論いただいた後、意見交換の場を設けます。

今回いただいたご意見も今後の協議会の進め方の参考とさせていただきます。